

日本金属化学 株式会社



1956年に鎌倉市で創業。その後、ふじみ野市に本社移転して50年を経ました。

もともとはリサイクルしたアルミニウムから不純物（酸化物やガス）を除去する化学品フラックスを生産・販売する会社としてスタート。一方で、フラックスの効果を証明するために、アルミの品質検査装置の開発にも着手。以降、(独)日本原子力研究開発機構の技術指導を受け、様々な品質検査装置を開発。現在はフラックス等の薬品の販売と、分析装置の販売や依頼分析での売り上げが、収益の基盤となっています。近年はガス分析装置「ブレスマス」に注力し、医療・健康分野での活用を目指しています。

主要事業、得意技術や自社製品の紹介

- アルミニウムの溶湯・鑄造に関する化学薬品「フラックス(融材:物質を溶かすために添加する物質)」の製造・販売。溶湯・鑄造に関する幅広い測定・分析装置の製造・販売を行っています。
- ガス測定装置「ブレスマス」の医療・健康分野での活用を目指しています。採血よりもはるかに簡単な呼気の測定によって、健康状態をチェックできるようにすることを目標としています。近年、ドイツでの医療機器展示会COMPAMEDに出展しました。

提供したいこと&求めること

- フラックス・アルミ溶湯・品質検査に関することならお任せください。
- 「ブレスマス」で測定したデータを分析していただける会社を探しています。医療・健康分野のビッグデータ分析や、呼気測定にご興味のある方はぜひご連絡いただければ幸いです。



〒356-0051 ふじみ野市亀久保1651
TEL 049-262-1234
FAX 049-264-9554
Web <http://www.nikkin-flux.co.jp>
代表者 代表取締役 大間知聡一郎
資本金 1,000万円
設立年 1956年
従業員 13名

国際資格の取得、主な表彰、開発実績

- 日本原子力研究開発機構 ライセンス企業8号

- 呼気分析装置
- ICP発光分析装置
- SEM EDS分析装置
- 放射線測定装置 他



製品例:「ニッキンフラックス」



製品例:「ピンホール試験機」(減圧凝固測定機)
アルミ溶湯中のガス量を管理します

「ブレスマス」の特徴 ~従来のガス測定との比較~

	ブレスマス	従来のガス測定方法(GCMS)
メカニズム		
測定対象	質量数1-200までの幅広い範囲を測定	測定ごとに1物質
前処理	前処理不要	測定対象の単離に数十分~数日
測定時間	わずか数分間	約30分間
測定結果	混合ガスのパターンデータ ライブラリへの照合不要	1化合物のデータ 既存のライブラリに照合し成分を特定
特徴	迅速でシンプルな測定手順	



製品例:ガス分析装置「ブレスマス」

アルミから発生するガスの他、農作物やヒトの呼気までガスであれば何でも、短時間(1検体あたり数分間)で正確(ppbレベル)に測定します。呼気データを迅速かつ大量収集できる唯一の装置です。